

# みつくら

令和 4年 5月15日 第362号  
発行 大瀬川活性化会議  
編集 「みつくら」編集委員会  
花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
大瀬川振興センター 電話45-6472

## “お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

### 各団体が今年も書面議決を実施

コロナ感染第6波の収束が見えないまま年度末を迎えた各団体は、振興センターの休館をはじめ自治公民館での会合も自粛され総会が行えず、昨年引き続き書面議決となった。各団体の事業報告から抜粋したものを紹介。

#### 自治公民館

【7区】昨年同様三世交代事業が行えず、各戸に「不織布マスク」を配布している。書面議決により全51戸が賛成。3月27日結果を配付している。

【8区】大瀬川振興センターの使用制限ため、今年度も資源回収と花壇の植栽・みずきだんご飾りのみの事業となった。そのため繰越金が多くなり、議案で令和4年度の会費を下げ、1戸当たり500円を提案し、書面議決の結果72戸の過半数の承認を得て、各戸へ結果報告している。

【9区(9区自治会含む)】事業報告から、花巻市の「施設利用制限ガイドライン」の考慮により、親睦活動が出来ず屋外での行事が主体の一年だったとあった。その中で、公民館建設から18年が経過したことから維持項目が重点目標に掲げられていた。書面議決は、3月26日付けで自治会員158名全員の同意があったと各戸へ配付された。

#### 自主防災会

【7区】7月の台風8号接近で「土砂災害アラート3」が発令された際、防災マップのイエローゾーン(土砂災害警戒区域)の方々に連絡を行っている。また、自治公民館内に連絡や掲示用としてホワイトボードを購入している。書面議決で全会員(51戸)から承認され3月27日付けで結果を配付している。

【8区】コロナ禍で計画されていた事業ができず、春と秋の2回防災倉庫の備品点検を行った他、有事に備えて「折りたたみヤカー」を購入している。書面議決で過半数が賛成し、各戸に結果報告されている。

【9区】コロナ禍で防災訓練が実施出来ず役員会で検討の結果、非常時に持ち運びができる乾電池式の「ランタン」1台を各戸へ配付している。書面議決結果は、全会員(58戸)

が賛成し、を3月26日付けで各戸に報告している。

#### 農家組合

【7区】今年度も研修会は行えなかったが、12月に基盤整備事業の地域営農ビジョン説明会を行っているほか、自治公民館用としてファンヒーター2台と電気ヒーターを購入している。書面議決結果は、組合員(48戸)から賛成を得ている。

【8区】12月に基盤整備事業の地域営農ビジョン説明会、1月に「農福連携」と「紫波町オガールプラザの歩み」を演題とした研修会を実施している。書面議決結果は、4月に過半数の賛成を得ている。

【9区】昨年に引き続き、研修旅行を断念し、現在進められている基盤整備事業を鑑み、11月に地域営農ビジョン説明会と「農事法人の設立から現状」の研修会を、12月には営農に関する12項目についてアンケート調査を実施し、書面議決書と一緒に調査結果報告を配付している。書面議決結果は、全組合員(51戸)から賛成を得て、3月21日付けで報告を配付している。

### 治山・林道工事コンクールで最優秀賞受賞

菅原茂(田中)さんは、高等学校卒業後(株)山下組に勤務し主に林野の仕事に携わる中、治山・林道工事コンクールに7度挑戦した。結果は平成30年と令和2年に優秀賞を受賞、今年3月に遂に念願の最優秀賞が決まり大変喜んでいた。しかし、東京(林野庁)・秋田(東北森林管理局)で行われる予定の受賞式がコロナ感染拡大により中止となり、推薦した南部森林管理署遠野支署の署長が山下組に出向いての受賞式となった。

菅原さんには、令和2年に行った第6回大瀬川歴史探訪講座の「田中家の由来」の講師として出席した際に、林道工事の概要を説明して頂いた経緯もある。

今回は、「大沢山林道新設工事」で電子野帳や再生材料などの最新技術で、工事コストの削減をしながら、施工状況が見やすいダイジェスト版の作成や、作業環境対策などの高評価を得て林野庁長官賞受賞となった。

### 測量区割り棒撤去のお願い

昨年、基盤整備事業で整備対象地区の外周測量を実施した際の区割り棒(頭頂部が赤・白色の棒)が刺したままになっており、これからの農作業の妨げになることから、大瀬川地区基盤整備事業推進委員会(菅原教雄委員長)から山王海土地改良区にその対応について確認したところ、「面倒をおかけしますが赤色は各自で抜き廃棄して頂き、白色は地面まで埋めて頂きたい。何か確認したい場合は山王海土地改良区(019-673-7311)に連絡して頂ければ対応する」とのこと。菅原教雄委員長も、所有者の方には面倒をかけるが対応して頂きたいと話している。

### 「大瀬川の居住と屋号」の冊子を配付する

大瀬川第一老人クラブ(熊谷善志会長)では、令和3年度の

事業として、菅原得之氏が自ら印刷・製本をした「大瀬川の居住と屋号」の冊子を菅原氏から了解頂き、花巻市の活動補助金を利用して、会員たちの手で製本(84ページ)を行い、4月末に9区全戸(58戸)とかつて9区に居住されていた方々(9戸)に配布した。総会の書面議決が大多数の賛成により承認された報告も同時に配布されている。

### 訃報

○太郎家の菅原あさ子さんは、4月14日に76歳で亡くなりました。菅原さんは紫波郡矢巾町の出身で、生家では数多くの野菜を栽培し、近くの産直に出荷している農家でした。菅原さんは、太郎家に嫁いでは看護助手として長く好地の似内医院に勤務していて、私達大瀬川の方々も大変御世話になったものでした。似内医院が閉院してからは、趣味の山菜採りを始めて、その達人とも言われるようになりました。山菜採りの当初は、大瀬川の山々でしたが、次第に西和賀などの遠くまで足を伸ばし、その採ったワラビやウド、タラの芽、フキなどは大瀬川の地元ではなく、矢巾町若清水の産直に生家の野菜と一緒に出荷していました。

火葬のときに、喪主の菅原史貴さんは「母は料理が得意で、その味が思い出されます」と挨拶されましたが、山菜料理も目に浮かぶようです。宮司さんであったご主人を支えての短い人生が残念でなりません。安協大瀬川分会女性ドライバ一部長など地区にも貢献されました菅原さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○鴨屋敷家の板垣光己さんは、4月22日に92歳で亡くなりました。板垣さんは神平家のお生まれで、大瀬川小学校高等科を卒業と共に15歳で志願兵に合格し、1年2ヶ月間にわたって北海道厚岸防備隊に勤務しその後終戦で帰還しています。映像で綴る大瀬川の記録「大瀬川兵役の証言」の中で板垣さんは「防備隊勤務中に、戦艦のソナーを担当していて、水中探査をしていた時に、乗っていた戦艦が撃沈されて沈没しました。死んでしまうと覚悟をしていましたが、運良く通りがかった漁船に助けられて命が助かりました」との映像が残されています。帰還した後は、警察予備隊の発足と共に宮城県増田警察予備隊に入隊し、その後北海道真駒内の米軍兵舎で勤務もされた方でした。

板垣さんは昭和27年に帰郷し、結婚後には農業の傍ら、7年ほど冬場に酒屋働きをされましたが、以後は一貫して専業農業として取り組まれました。初代の農協ビーマン部会長を皮切りに、農協良質米増産競作会では、最優良賞(ササニシキ647kg)を受賞するなど多くの農業実績が讃えられ、花巻市農業賞を奥様の順子さんと二人で授かったのも思い出します。8区農家組合長や町農協野菜生産部会副部長、町ゴミボイ捨て防止監視員、第8区自治公民館副館長、大瀬川中央長寿会副会長、葛丸写真クラブ会長など地区でも数え切れない程の貢献をされました板垣さんに、謹んでご冥福を申し上げます。